

平成27年度 技術士第二次試験口頭試問 体験記

(応用理学部門－地質－土木地質)

渋谷フォーラム 8 : 平成28年1月9日 (土) 9:00～9:20

よいとまけ

試験官：3名 A 試験官 (中央) 進行役 40代後半? ゼネコンorコンサル?
B 試験官 (右側) 50代前半? 大学教授or国土交通省?
C 試験官 (左側) 50代前半? 大学教授or国土交通省?

Q1.経歴の説明。

Q2.「業務の詳細」の内容(地すべり)についての質問。

Q3.地すべり観測で苦労したこと。

Q4.地すべり観測に関して、現時点で再考されること。新技術や将来展望について。

Q5.地すべり業務以外の業務についての説明。

Q6.軟弱地盤の調査・解析で苦労したこと。

Q7.学会に加入していますか。そこでの技術発表や論文の投稿はありますか。

Q8.特許や知的財産の登録はありますか。

Q9.技術士の3義務と2責務とは。

Q10.「信用失墜行為」とはどのようなものか。

Q11. CPDとはどのようなものか。

Q12.CPDに対してどのように取り組んでいるか。今後、どのように取り組んで行くか。

(※もう少し質問があったと思うが忘れてしまった。)

感想：前回から5年のブランクはありましたが、今回で5回目の口頭試験なので慣れたつもりで臨みました。しかし、てっきり試験官は2人と思いきや、3人並んでいてまず動揺（今までは2人だったのに・・・・）。中央の進行役（A試験官）の方は終始やさしくにこやかに、こちらが答えやすいように問いかけてくれました。しかし、両側の2人は、ニコリともせずこちらを凝視しています。（緊張してしまい、のどが渇いてきて口が滑らかに動かない・・・・。）

まず、経歴を説明。A試験官が手元の経歴書を見てチェックしている。覚えたはずの従事期間年を間違えたか？ちょっと首をひねっている。内容も随分はしょってしまった。

「業務の詳細」についての質問に答える。なんとか納得してくれたようだ。「業務の詳細」が地すべりだったので、現時点での考えや観測に関する新技術・将来展望について意見を求められた。想定していなかったのでの確な答えが出てこない・・・・。「地すべり遠隔自動観測システム」などについて述べるべきだった。思い出せなかった・・・・。

地すべり以外の業務について問われたので、丘陵地沢部横断の高規格道路の調査・解析について説明。そこでの苦勞を聞かれたので沢部の軟弱地盤について話すと、軟弱地盤の調査解析に関する苦勞したことを説明するように言われた。また、前回の口頭試験で、〇〇特有の競走馬の牧場でのボーリング調査の苦勞（競走馬が臆病なこと、夜間作業）を話すととても受けたので、また話してみたがぜんぜん受けなかった。（失敗だ、地すべりじゃないのにすべった。二匹目のドジョウはいなかった。ただ、調子に乗ってヒグマの話しまでしゃべらなくて良かった・・・・。）

次にA試験官から加入している学会とそこでの技術発表、論文投稿、特許・知的財産の登録の有無について聞かれた。（そんな高度なことは何にもない・・・・。）

A試験官が時計を見ながらB、C試験官に目で同意を求め、技術士の3義務2責務について問うてきた。3義務1責務まで出てきたが、最後のもう1つの責務が出てこない。数秒詰まったが、どうにか出てきてホッとした。

「信用失墜行為」を具体的に聞かれ、今話題の「基礎杭データ偽装」「落橋防止装置溶接不良」などについて説明した。（後で考えるとこれで良かったのかなあ。）

最後にCPDについて現在の取り組み、今後の取り組みを聞かれた。ここでも前回反応が良かった、弊社が地方技術士協議会の事務局をやっていることを話し、技術研鑽に務めていると言ってみたが、いまいちの反応だった。

ほとんどA試験官が質問して進行した。B試験官からは2,3の質問があった。C試験官は一言も発しなかった。筆記試験に関する質問はまったくなかった。

印象としては、経歴の確認、それぞれの業務を主体的にしかも技術的に良く考えながら取り組んで来たかを確認するような質問だった。また、技術に関する将来展望やCPDへの今後の取り組みなど、これからしっかり技術士として取り組んで行くのかを問われたようだ。挨拶をして部屋を出るまでしっかり見られていた。試験時間18分か19分。

とにかく疲れた。近くのホテルに前泊したが、いつもながら枕が変わると眠れない。夜中だというのに外から機械のエンジン音がやたらとうるさい。ほとんど眠れなかった。朝一の試験だったのでコンビニでアリナミンV1本680円を飲んでから臨んだ。

今回は受験しようかしまいか、締切り直前まで悩んでバタバタと申し込んでしまった。「業務の詳細」と口頭試験の関連、その対策まで考えずに申し込んだので苦勞した。土木

畑なので応用理学関連が苦手、APECさんの100本ノックに助けられた。（筆記試験の択一問題はギリギリで通過、Ⅱ－A、Ⅲ－Aでした。）

合格発表日、3月1日（火）合格発表を恐る恐る開くと・・・番号があった・・・合格だ。ホッとして急に脱力。妻に報告すると「あっそっ」とそっけない返事。なかなか大変さをわかってくれない。それ以上言うと「毎年毎年、受験生の母親みたいな心境なんだから」とうとうしそう。悲しい・・・。（毎年いろんな試験受けてるからなあ・・・）

「応用理学部門－地質」の筆記試験合格者と最終合格者の人数を見ると、67%になっている。良く合格できたなあ。背筋がゾッと寒くなりました。恐るべし技術士第二次試験。それでも、初期の建設一般、経験論文までひたすら暗記して筆記していた頃から見たら、隔世の感がありますね。良い経験でした。